

## 杉並支部の事業より

◆ **1月20日(火)**  
新春講演会  
「不透明な現代を生きる」  
講師 解剖学者・東京大学名誉教授 養老孟司氏  
◆ **1月20日(火)**  
新春賀詞交歓会  
於 吉祥寺第一ホテル

◆ **2月5日(木)**  
新交通システムゆりかもめ  
車両整備工場視察会(交通運輸分科会)  
◆ **2月19日(木)**  
新春特別講演会「世界の構造変化と日本」  
講師 財団法人日本総合研究所 会長 寺島実郎氏

◆ **3月7日(土)**  
アニメーション  
フェスティバル  
in 杉並  
於 杉並会館 桃井第一小学校



東京開発株式会社  
代表取締役  
秦成夫氏

1600年頃から久我山の現在の地に居を構えてきた秦さんのご自宅。その周りを囲むけやき並木は、杉並「まち」デザイン賞にも選ばれ、地域住民の癒しとなっています。秦さんにとっても、ここが一番ホッとする場所と笑顔で語ります。剪定や落ち葉の掃除など維持には手がかかりますが、近隣住民はいつも快く手伝ってくれるとか。住みよい環境作りという同じ目標に向かい、損得勘定なしで皆が協力し合う点が久我山の良さと秦さん。地域の有志で発足した防犯パトロールもそのひとつで、2004年に20件ほどあった空き巣、引ったくりが現在ではゼロになるなど、改めて地域の力を実感しているそうです。

## 杉並区的笑顔

杉並区好きなお客を伺いました。



永井接骨院  
院長  
永井邦夫氏

高円寺に生まれ武蔵野市で育ち、富士見ヶ丘駅前に現在の接骨院を構えたのは1983年。自身がラグビー経験者で怪我が絶えなかったことから現職を選んだそう。「ここは緑も多いし交通の便はいいし、住むには本当にいいですよー」とイチオシ。神田川沿いや旧NHKグラウンドなど校の名所が多いのも魅力だとか。職業柄、お年寄りと接する機会が多く、趣味で始めたダーツは認知症予防に効果があるとのこと、定期的に講習会を開き指導されています。富士見丘商店会の会長も務め、地元との交流を積極的に行う永井さん。これからも強く優しく杉並を支えてくれることでしょう。

# 特集 京王・井の頭線ブロック PART1

京王・井の頭線ブロックとは、高井戸東、高井戸西、上高井戸、久我山、和泉、大宮、永福、下高井戸、浜田山の各町です。今回はその中から、久我山、高井戸の地域で活躍する人たち、催し物などを紹介します。

杉並区の南部を走る京王井の頭線と、世田谷区との区境を走る京王線の沿線であるこの地域は、江戸時代から町民の生活用水源として欠かせなかった神田川と玉川上水が横断して流れており、東京の歴史に深く関わっていると言えます。駅前を一步抜ければ豊かな自然にあふれ、のんびり散歩するのに最適です。ラグビーなど各スポーツで全国大会の常連校である國學院大学久我山中学高等学校や、大正時代からの佇まいをそのまま残す浴風会本館、広大な敷地を誇る富士見ヶ丘運動場(旧NHKグラウンド)も、この地にあります。

## ホタルが育つまちを 目指して、久我山

は6回目より会場に。当初は他所から借りたホタルを放流するだけでしたが、

11月下旬から1月末までの久我山は、街の樹が鮮やかなイルミネーションで彩られます。今年で11回目を迎えた「ピカピカ祭り」は、暮れの売り出しイベントのマンネリ打開策として発案され、以後、久我山の冬の風物詩として定着しています。



ピカピカ祭りのイルミネーション

もうひとつ、久我山の夏の夜空

現在は関口さんほか数名が、自宅の庭にホタルが育つ環境を整え人工繁殖をし、丁寧な管理のもとで育てた500匹ものホタルを会場に放っています。

1961年ごろまでは、この地域にもホタルが自生していたそうですが、神田川の汚染により姿を消しました。つまり、ホタルが発生するには「きれいな水」が絶対条件。ホタル祭りは年に2日間、この儚さが魅力のひとつとも言えますが、その自然環境を、年間を通して楽しめるようにしたいと関口さんは語ります。ホタルが自然発生するようなまちを作ろうと、地域住民が常に環境美化を心がけてくれることで、人々が癒される美しい自然を保つことが目標なのです。



久我山ホタル

## 地域に密着! 富士見丘商店会

富士見丘商店会永井邦夫会長は、井の頭線・富士見ヶ丘駅を挟んで南北600メートルに伸びる一本道の両脇に連なる120店

を美しく照らすイベントとして知られるのが、毎年6月に開催される「ホタル祭り」。久我山連合商店会会長の関口公男さんに、ホタル祭りと、お祭りを通じたまちづくりについて伺いました。

ホタルもイルミネーションも、静寂と暗闇のなかで映えるもの。久我山では2002年から区の助成事業として「水と緑と豊かなとき」が心を癒すまち」をスローガンに掲げています。現在、放射五号道路計画により、玉川上水周辺の静かな環境が脅かされようとしています。これらのイベントの成功を続けることで、住民一

舗で構成されています。1951年に設立された、歴史ある商店会です。この目玉は、なんとと言っても「七夕踊り流し」。毎年8月の第1土・日曜日に行われ、今年で4年目となったこのお祭りでは、地元の人たちによる盆踊り、出店のほか、本場ブラジルのサンバ隊を呼んだ盛大なカーニバルが楽しめます。6メートル幅の一

## 地歴散策

～久我山稲荷神社の湯の花神楽～

◆井の頭線沿線の閑静な町として人気の久我山地区。神田川の水の恵みを受けるこの地では古くから人々の生活が営まれていました。久我山小学校一帯からは、旧石器時代や、全国的にも例の少ない縄文時代草創期の遺跡等も発見されており、この地の暮らしやすさが今も昔も変わっていないことを物語っています。

◆そんな久我山で古くから鎮守さまとして親しまれてきたのが、久我山稲荷神社(久我山3・37・14)です。この神社に伝わる「湯の花神楽」と

まったため、と伝わっています。◆明治時代に1年だけ中断したところ途端に赤痢が流行したため、以来毎年欠かさず続けられているとのこと。大金に煮え立つ熱湯を、神職が笹を使って振り撒き、これを浴びた参拝客は無病息災で過ごせるのだそうです。同様の神事は全国に「湯立神楽」として伝わりますが、都内でもこの神楽が残るのはここだけと言われています。10月に行われる秋祭りの盛大な神輿も見ものとなっている久我山稲荷神社。古式ゆかしい神楽と神事をあなたが目で確かめてはいかがでしょうか。



「湯立の祓い」の様子

本道は、サンバ隊が踊って歩くのにちょうどいいのだとか。60名のダンサーと7000人の観客が集まり、富士見丘商店会が最もアツくなる2日間です。「富士見ヶ丘」という町名はなく、商店街を境に高井戸と久我山に分かれます。商店会と町会が協力し合い、小規模だからこそ団結したまちづくりが行えているそう。通り沿いの全店舗が商店会に参加している点からも、地域のまとまりの良さが伺えます。



サンバ隊のパレード

## 杉並支部 今後の事業予定

### 金融相談会

2009年5月19日(火)  
杉並区立産業商工会館  
(阿佐谷南3-2-19)  
詳細未定。要事前申込

### 和田堀ブロック地域振興会議

2009年4月22日(水)  
松ノ木集会室(予定)

### セミナー

「平成21年度税制改正の概要と対応策」

講師 税理士・F P 斎藤英一氏  
2009年4月8日(水) 14時～16時  
杉並区立産業商工会館  
(阿佐谷南3-2-19)

経営支援活動 経営の改善と新たな成長に向けて取り組む企業の挑戦を力強くバックアップします。

### 資金のご案内

★経営改善資金(マル経融資)：マル経融資(小企業等経営改善資金)は小規模事業者の方々の経営をバックアップするために無担保・無保証人で商工会議所の推薦にもとづき融資される国(国民生活金融公庫)の融資制度です。

★東京商工会議所メンバーズビジネスローン：東京商工会議所と協力金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の提携により、通常より優遇された条件で融資が受けられる東商会員ならではのメリットです。

### 経営のご相談

専門家が無料でご相談に応じます。

★法律相談・税務相談：経営上、お困りの方はお気軽にご相談ください。弁護士・税理士がお答えいたします。

★エキスパートバンク：小規模事業者の皆さまからのご要望に応じて、東京商工会議所に登録されたエキスパート(専門家)を直接事業所に派遣し、具体的・実践的なアドバイスによって問題の解決に役立てていただくものです。

政策提言・要望活動 経営環境の改善と活力のある経済社会の実現に向けて会員企業の皆さまの声を政治・行政に反映させます。

地域振興活動 産業振興・地域活性化に向けて会員企業の皆さまと地域社会の取り組みを推進します。

お問い合わせ：東京商工会議所杉並支部 03-3220-1211